

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果について

今年度の検査である「国語」「数学」「英語」「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」の調査結果の公表については、「序列化や過度な競争が生じないように配慮しつつ、各学校が自校の結果を±3ポイントの幅を基準とした5段階による言葉を用いたり、成果と課題を丁寧に捉え、具体的な改善策を示したりすることとする。」という札幌市の方針を受け、以下のように示しております。

■ 国語、数学、英語

それぞれ領域ごとの本校の平均正答率と全国平均との差を用いて比較しています。

+3.1ポイント以上	⇒ 「上回っている」
+3.0ポイントの範囲内で全国平均以上	⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
全国平均と同じ	⇒ 「ほぼ同程度」
-3.0ポイントの範囲内で全国平均以下	⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
-3.1ポイント以下	⇒ 「下回っている」

■ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

全国と比較して差異の大きい質問のうち、「肯定的な回答の多いもの」と、「肯定的な回答の少ないもの」、また特徴的なものと分類して選択しています。

また、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解いただけますようお願いいたします。

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校国語 【内容】 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「話すこと・聞くこと」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「書くこと」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「読むこと」 ・全国平均に比べ、上回っている。	●文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことに課題がある。 ●情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことに課題がある。 ●話合いの展開に応じて、互いの立場や考え方を結び付けたり、話し合った内容を踏まえて述べたりすることに課題がある。 ●表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことに課題がある。 ●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がある。	○1人1台端末の活用が増す中でも、文章を作成する際に、漢字がもつ意味に注意して、適切に選択するなどの活動の充実。 ○話合いに含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりする活動の充実。 ○互いの考えを捉える中で見いだした共通点や相違点、新たな提案などを踏まえて、話合いが進展するように、自分の考えが伝わるような発言をする活動の充実。 ○書き終えた文章について、読み手からの感想や助言を基に、自分の文章を振り返り、次の書く活動にどのように生かすかを考える活動の充実。 ○具体的な場面を思い浮かべ、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことと結び付けるなどして、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返る活動の充実。

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校 数学	【領域】 □「数と式」 ・全国平均に比べ、上回っている。	●統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。	○既に成り立つことが分かった事柄を基に、条件を変えた場合について成り立つ事柄を見いだす活動の充実。
	□「図形」 ・全国平均に比べ、上回っている。	●証明する事柄の仮定となる辺や角の関係を見いだすことに課題がある。	○図形の性質を証明する場面などにおいて、証明する事柄の仮定と結論を明らかにする場面を設定する活動の充実。
	□「関数」 ・全国平均に比べ、上回っている。	●数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。	○表、式、グラフなどを用いて、それらをどのように用いたかについて数学的に説明する活動の充実。
	□「データの活用」 ・全国平均に比べ、上回っている。	●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することに課題がある。	○データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を、例えば二つの度数分布多角形の形や位置関係など、様々な特徴を基に判断の理由を説明する活動の充実。

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校 英語 【内容】 □「聞くこと」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「読むこと」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「書くこと」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「話すこと(やり取り)」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「話すこと(発表)」 ・全国平均に比べ、上回っている。	●日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることに課題がある。 ●日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることに課題がある。 ●社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題がある。 ●音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して話すことに課題がある。 ●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことに課題がある。	○話題を把握した上で、特定の部分にのみとられることなく、全体としてどのような話のあらましになっているのかを捉える活動の充実。 ○文章全体を通して読み、文章から取り出した複数の情報を比較することで、どの情報が最も重要であるかを判断する活動の充実。 ○文章を読み、書き手が最も伝えたいことを捉え、それについて感じたことや考えたことを、理由とともに書く活動の充実。 ○事実や自分の考えなどを、不適切な間を置かずに関心と事実や意見、気持ちなどを伝え合う活動の充実。 ○聞き手に伝わるように、1つのテーマに沿った発表をしたり、内容に一貫性があるスピーチをしたりするなどまとまりのある内容を話す活動の充実。

■ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

すべての質問について、肯定的な回答を合計し、全国平均と比較した結果について、特徴的なものをお知らせいたします。

○ 全国平均と比較し肯定的な回答の多いもの

質 問 項 目	本校の割合	全国平均
・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	83.4%	71.9%
・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	78.0%	67.5%
・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	91.8%	80.8%
・あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか	91.8% R7(83.3%)	80.0%
・総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	93.1%	81.7%

○ 全国平均と比較し肯定的な回答の少ないもの

・1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたかの問いに「ほぼ毎日」と回答	9.6%	55.1%
---	------	-------

今年度で3年目となる本校独自の取組である琴中プレゼンテーションによる積み重ねが、ICT機器の操作や総合の取組に関する質問での肯定的な回答に結び付いています。全国平均と比較しても割合が高く、校内の経年変化を比較しても肯定的な意見が増加傾向です。

しかし、日常の授業におけるICT機器の活用は全国平均に比べて低い傾向にあり、校内の経年変化でも低下の傾向が見られるところが課題となっています。